

市町村名	江南市	窓口	江南市保健センター
住所	〒483-8157 江南市北山町西 300 番地		
電話	0587-56-4111	FAX	0587-53-6996
E-mail	hoken@city.konan.lg.jp	URL	https://www.city.konan.lg.jp/
【周産期医療機関への PR コメント】			
保健師または助産師による妊産婦への支援を、電話または訪問相談等にて行っています。支援を要するケースがありましたら、電話、連絡票等にてお知らせください。			
母子手帳交付			
場所	江南市保健センター		
交付方法	面接交付		
スタッフ職種	保健師・助産師		
→保健師以外の場合の気になるケースへの対応	保健師と同様に個別面接交付にて実施。ハイリスクケースに対しては地区担当保健師を紹介。		
市町村独自アンケート	なし（転入者の転入手続きの際に妊娠届出書アンケート調査を実施している）		
内容・特徴	個別面接で交付。母が来所できない場合代理者への交付は可能。		
子ども家庭センター			
有			
名称	江南市子ども家庭センター		
場所	江南市北山町西300 番地 ^{トコトコラボ} toko* toko=labo (江南市布袋駅東複合公共施設) 2 階		
スタッフ職種	保健師・助産師		
内容・特徴	妊娠準備期から子育て期までの母子保健及び育児に関する相談に対し、保健師及び助産師が総合相談窓口となり、必要な情報の提供及び、児童福祉部門（子育て支援課）の子ども家庭支援員、利用者支援専門員、保育士、社会福祉士と連携し、切れ目のない包括的な子育て支援を提供する。		
パパママ教室・両親学級等			
名称	ハッピーパパママ教室（妊娠・出産編、育児編）		
時期・回数	妊娠・出産編：年 6 回 育児編：年 12 回		
会場	江南市保健センター		
対象者	妊婦とそのパートナー		
スタッフ職種	妊娠・出産編：保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士 育児編：保健師、助産師		
申込み方法	Web（定員あり、先着順）		
内容・特徴	妊娠・出産編：歯科衛生士による講話、管理栄養士による講話、助産師による座談会、パパママ交流会、妊婦体験、マタニティ体操、赤ちゃん人形を使つての抱っこ体験、陣痛を乗り切るための呼吸法・マッサージ法、家事育児の分担を考える交流会など 育児編：育児体験（抱っこ、おむつ換え、沐浴など）、育児物品の展示、家事育児の分担を考える交流会など		
子育て支援に関する事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG 等）			
名称	さくらんぼの会（多胎の会）		

時期・回数	月1回		
会場	江南市保健センター		
対象者	多胎を妊娠している方・出産した方と子		
スタッフ職種	保育士・保健師		
申込み方法	申込不要		
内容・特徴			
マタニティサロン・広場等			
名称	産後リフレッシュ教室		
時期・回数	年12回（月1回）		
会場	江南市保健センター		
対象者	生後2～3か月児とその保護者		
スタッフ職種	保健師・助産師		
申込み方法	Web（定員あり、先着順）		
内容・特徴	リフレッシュ体操、ベビーマッサージ、交流会 など		
産前・産後サポート事業／産前・産後ヘルパー			
名称			
時期・回数			
場所			
対象者			
スタッフ職種			
利用方法			
内容・特徴			
産後ケア事業			
名称	産後ケア事業 （宿泊型）	産後ケア事業 （デイサービス型）	産後ケア事業 （訪問型）
会場	江南市と契約した医療機関等		申請者の自宅
対象者	市内に住所を有する産後4か月未満の妊婦とその乳児で、下記の項目全てに該当する方 （訪問型は産後1年未満） （1）体調不良又は育児不安がある方 （2）感染性疾患（麻疹、風疹又はインフルエンザ等）に罹患していない方 （3）心身の不調があり、医療的介入の必要がある者（医師が事業において対応が可能であると判断した者を除く）でない方。		
スタッフ職種	助産師、医師等	助産師、医師等	助産師
利用方法	江南市子ども家庭センターへご相談ください。（利用の3日前までに申請が必要）		
内容・特徴	内容	産婦の休息や不安の解消、育児や授乳方法の指導	産婦の休息や不安の解消、育児や授乳方法の指導、産婦の不安の解消、育児や授乳方法の指導、沐浴実施
	利用上限	7日以内（7日を分割して利用することも可）	7日以内（7日を分割して利用することも可）
	利用料	申請者の世帯の課税状況に応じて異なる	
子育て世帯訪問支援事業		養育支援訪問事業	

		専門的相談支援		
対象者		支援が必要と認められた方		
スタッフ職種		保育士		
里帰り先への訪問		なし		
申込み方法		対象者からの申し出、または保健師等より事業を紹介・勧奨		
内容・特徴		妊娠、出産、育児に関する相談・支援 育児指導、養育環境の改善指導		
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは 赤ちゃん訪問
対象者	妊娠中に訪問支援を要する妊婦	生後1か月までの児と保護者	低出生体重児と保護者	生後4か月までの児と保護者
時期	妊娠期間中	原則生後1か月まで	医療機関から退院後	生後4か月まで
家族からの申し込み方法	電話、窓口	出生連絡票での申し込み（窓口、郵送、電話、FAX、電子申請）など		
医療機関からの依頼方法	文書、電話連絡			
スタッフ職種	保健師、助産師	保健師、助産師	保健師、助産師	保健師、助産師
里帰り先への訪問	江南市への里帰り訪問：自治体からの依頼があれば原則対応可能 江南市に住民登録がある対象者の里帰り先への訪問：保護者の希望がある場合、里帰り先の自治体に訪問を依頼			
内容	相談対応 など	保健師、助産師：授乳・育児に関する相談、体重測定 など		
育児相談				
名称	すくすく相談	のびのび相談（乳幼児健診事後相談）		
時期・回数	年12回（月1回）			
会場	江南市保健センター			
対象者	乳幼児とその保護者	乳幼児健診で要観察となった児など		
スタッフ職種	保健師、助産師、歯科衛生士、管理栄養士	保健師		
申込み方法	身体計測・育児相談：予約不要 個別相談（歯みがき、卒乳、栄養）：電話・窓口申込み（定員あり、先着順）	健診または、継続支援時に保健師等より事業を紹介、勧奨（要予約）		
内容・特徴	身体計測 個別相談：育児、歯みがき、卒乳、栄養（離乳食、食事、おやつ）に関する相談	身体計測、個別相談、視聴力検査		
育児相談				
名称	心理相談員による発達相談			
時期・回数	年60回（月5回）			
会場	江南市保健センター			
対象者	乳幼児健診などで発達の確認が必要と思われる幼児とその保護者など			
スタッフ職種	心理相談員			

申込み方法	電話、窓口申込み（定員あり）			
内容・特徴	発達相談			
3, 4 か月児健診		他の乳幼児健診		
名称	4 か月児健診	1 歳 6 か月児健診	2 歳 歯科健診	3 歳児健診
方法	集団健診			
時期・回数	年 24 回（月 2 回）			
会場	江南市保健センター			
対象者	生後 4～6 か月までの児	1 歳 6 か月～1 歳 11 か月までの児	2 歳 0 か月～2 歳 3 か月までの児	3 歳～3 歳 11 か月までの児
スタッフ職種	小児科医、保健師、助産師、看護師、管理栄養士、保育士、事務職	医師、歯科医師、保健師、歯科衛生士、看護師、管理栄養士、心理相談員、保育士、事務職	歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士、保育士、事務職	医師、歯科医師、保健師、歯科衛生士、看護師、管理栄養士、心理相談員、保育士、事務職
申込み方法	対象者に個別通知			
周知方法	個別通知、広報、ホームページ など			
内容・特徴	問診、身体計測、内科診察、栄養・育児相談など ※ブックスタート事業と同日実施 ※産婦歯科健診を同時実施	問診、身体計測、内科診察、歯科診察、栄養・育児・発達相談、フッ化物塗布 など	歯科診察、ブラッシング指導、フッ化物塗布、 歯科・栄養・育児相談 など	問診、身体計測、内科診察、歯科診察、フッ化物塗布、栄養・育児・発達相談、視聴力検査（スポットビジョンスクリーナー導入済）など
離乳食教室・子育て教室等				
名称	離乳食講習会 前期・後期			
方法	集団指導			
時期・回数	各年 12 回（各月 1 回）			
会場	江南市保健センター			
対象者	前期：生後 5～8 か月児とその保護者 後期：生後 9 か月～1 歳 6 か月児とその保護者			
スタッフ職種	前期：管理栄養士、保健師、歯科衛生士 後期：管理栄養士、保健師			
申込み方法	申込みは必要ありません			
内容・特徴	前期：離乳食の話と離乳食の見本の展示、歯の話 後期：離乳食の話と試食			
5 歳児健診				
有 ・ 開始予定 （ 年度 ） ・ 無				
名称				

健診事後教室等				
名称	ひよっこ教室（乳幼児健診事後教室）			
方法	集団指導、個別相談			
場所	江南市保健センター			
対象者	1歳6か月、3歳児健診等において ・精神発達上経過観察の必要がある者 ・子どもの保育環境上問題のある者 ・保護者からの相談、希望があった者			
スタッフ職種	保健師、保育士、心理相談員、こども発達支援センター相談支援専門員			
利用方法	健診または、継続支援時に保健師等より事業を紹介、勧奨（要予約）			
内容・特徴	親子遊び、テーマ遊び、自由遊び、母親グループ話し合い など			
電話相談				
担当部署	江南市保健センター	江南市こども家庭センター		
名称				
曜日・時間	平日 8時30分～17時15分			
電話番号	0587-56-4111	0587-56-4120	0587-58-5850	
対象者	妊産婦・乳幼児	妊産婦・乳幼児	18歳までの子ども・養育者	
スタッフ職種	保健師、管理栄養士、歯科衛生士	保健師、助産師	子ども家庭支援員、保育士、社会福祉士、利用者支援専門員等	
内容・特徴	個別相談	個別相談	個別相談	
思春期保健に関する事業		その他事業		
名称	思春期教室	歯～ピカ教室	親と子の栄養教室	歯と口の健康センター
時期・回数	申込みに応じて	年12回（月1回）	年3回	年2回
対象者	市内中学生	① 1歳0か月～1歳2か月児とその保護者 ② 1歳3か月～1歳6か月児とその保護者	小学生とその保護者	乳幼児～小学6年生まで
スタッフ職種	助産師、保健師	保健師、歯科衛生士	管理栄養士	歯科医師、歯科衛生士
申込み方法	学校からの申込	電話、窓口申込み（定員あり、先着順）		
内容・特徴	からだと心の発達、生命の尊さ、性被害など	むし歯予防の話、歯の染め出し、ブラッシング指導	食に関する話、調理実習	歯科健診、フッ化物塗布